

平成28年度 学校自己評価システムシート (武南高等学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	国公立大学等進学実績の向上と豊かな人間性の確立を目標の柱とし、生徒の能力を顕在化させるべく教職員一人一人が濃密かつ活気ある授業の創造に全力で取り組み、21世紀の社会に貢献できる自主自立の精神に満ちた人間を育成する
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 学力の向上と進学実績の更なる飛躍 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校関係者	4名
-------	----

学校自己評価					学校関係者評価			
年度目標					年度評価 (3月16日現在)			
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	観点	次年度への課題と改善策	
					実施日 平成29年3月27日			
					学校関係者からの意見・要望・評価等			
1	授業の充実・改善	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心を引き出し、伸ばす授業を進める 受験を意識した授業改善を進め、センター試験とともに2次対策を行う 模試問題分析を各教科で行い、授業に反映させる 授業時間を確保し、圧倒的基礎力を充実する 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察シートを用いた授業評価、教員間の授業参観・評価 土曜学力向上講座、授業力向上研修(予備校等派遣)を進める 模試事前指導を各教科で行い、生徒に自信をつけさせる 毎日の予習・復習の奨励と小さな時間を積み上げる指導を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察シートを用いた管理職との意見交換(6,10月) センター5教科7科目受験者100名以上 模試偏差値を活用、学力向上を目指す 毎日行う小テストをすべての生徒がクリアする 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察シートを用いた授業研究5・6月(常勤)、10・11月(非常勤)実施 センター試験5教科7科目受験79名、一部科目受験220名。国公立前・中・後期出願延べ77名 各学年で小さな学習時間を積み上げる。1・2学年は早朝学習、課題学習を年間を通して実施する 	B	<ul style="list-style-type: none"> 5教科センター試験受験者は目標に達しなかった。特に選抜文系クラスが振るわなかった。科目を絞らず試験に挑戦させる諦めさせない指導が課題である 1、2学年は年間を通して課題を用意して早朝学習に取り組んだ。次年度は課題の添削など更に細やかな改善策が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の充実に向けた学校の熱意がよく分かった。 より困難な受験にもチャレンジしていく生徒の育成は引き続き目標として欲しい。 小テストや早朝学習を積み重ね、大きな力にする。 センター受験者が増加していることは具体的方策の取組の成果。今後も粘り強く挑戦する指導と国公立の受験対策を。 教師の資質向上と生徒に流されない魅力ある授業展開に期待する。
2	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> オープンスクール、授業公開を充実して学校を開く 学校の教育活動を中学に広報する 入試説明会、個別相談会の改善充実 蕨東中学校との交流授業を進める 広報媒体を活用して正確迅速な情報発信を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動を改善して中学生保護者の増加を図る 武南の教育活動、卒業生の進路を各中学校に伝える H29年度入試基準の改善 「高校の授業を体験してみよう」7月、5教科で実施 学校の教育活動を印刷物、HP等で積極的に発信する 	<ul style="list-style-type: none"> H27年参加者数を上回る 川口、蕨、戸田等地元中学に加え入学者の多い中学を訪問する 受験者増に努め、単願定員180名を確保する 武南中学高校新聞の発行(2回)HPをリアルタイムで更新 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスクール1回、授業公開2回 蕨東中学校との交流授業「高校の授業を体験しよう」7月 管理職による中学訪問(川口、蕨、戸田、さいたま市) SGH講演会、藤本光世「運命を拓く」(2学年) 学校HPをリアルタイムで更新、危機対応にも備えた 	B	<ul style="list-style-type: none"> 評価の高い蕨東中学校との交流授業を来年度も実施する 管理職に主任層を加え中学校訪問を充実させ、学校の教育活動を中学校に広報する SGHの視点は武南の教育活動に不可欠、SGHの研究・実践に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 東中との交流授業は中学生にとってもとても意義深く、早い時期に進路選択に目を向けるきっかけとなっている。今後も価値ある体験の継続と充実を期待。 中学校訪問は、継続すべきである。学校側から出向いて広報することは大事である。 21世紀の社会に貢献できる人材輩出のため、留学は大いに価値があり、多くの生徒が体験できればよい
3	学力の向上と進学実績の更なる飛躍	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間の確保に学校を挙げて取組み、学力向上を進める 管理職、学年、進路指導部の連携を進め、第一志望の大学に合格できる指導体制を整える 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で指導法を工夫して早朝学習を進める 長期休業中の進路補講を改善する(時間調整、シブパス活用) 進路、出願先検討会の充実 進路カードを整理し指導に資する資料を提供する 先進校視察を行い全国の進んだ取組を導入する 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で早朝学習の参加者を増やす 開講数を増やすとともに受講者は必ず出席させる 3年は3回、1,2年は各1回 進んだ取組を研修会で取り上げる 国公立40、早慶上理30、GMARCH100を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜学力向上講座、毎月第2土曜11回実施(2年希望者109名、中高一貫40名参加) 受講者はシブパスを活用して講座に参加、時間調整も進む 各学年で進路検討会実施、生徒の学力・志望を共有する 渡辺校長「大宮高校の学習指導」を講義 進路実績は目標に及ばず 	B	<ul style="list-style-type: none"> 駿台予備学校と連携して土曜学力講座を進める。本校職員の理解と協力が十分ではない シブパス、時間調整により長期休業、補講、朝学習の実践を深化させ、生徒の学力向上を図る 模擬試験事前指導を各学年・教科で行い、生徒に自信をつけさせる指導を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 外部の講師を招いての講習はなかなかむずかしいことではあるが、個々の生徒で求めているものに合致する方法や内容で講座や補習を行うことが、大切なポイントとなりそうだと感じる。 土曜講座に対する職員の声を聞き、リット、デリットを明確にし今後の対策を見直す必要がある。 先生方の頑張りに期待する。
4	生活指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 凡事を徹底し、所作・身だしなみ等内面を鍛え、社会性を身につけさせる 職員の意識改革を進め、生徒に自ら範を示す 挨拶は学校の顔、挨拶を励行する 	<ul style="list-style-type: none"> 凡事徹底：時間厳守、服装を正す、整理整頓、授業集中 職員自らが範を示し、生徒、保護者から尊敬信頼を得る 挨拶は相手に届くこと、大きな声で相手に届ける 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ目線で全員で繰り返し指導する 課題となっていることを全員で正す 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝管理職・職員が通学路、正門、駐輪場等で指導。通学マナーが向上、遅刻者数も大幅に減少 年間を通して凡事徹底指導時間厳守、服装を正す、整理整頓、挨拶を届ける指導を徹底した 	B	<ul style="list-style-type: none"> 凡事徹底は授業改善、学力向上への道であることを繰り返し生徒教員に訴え続ける 優れた取組を全校集会、職員研修会で紹介して凡事徹底を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 小中高等学校、一貫してこの「凡事徹底」は人間教育の土台ともなるものと思います。その成果は子どもの姿にあらわれていると思います。継続しての取組に期待します。 教員、生徒共に意識を高め合う。 凡事徹底の指導が、卒業式の生徒の自然な振る舞いに出ている。
5	部活動・学校行事等の充実・振興	<ul style="list-style-type: none"> 文武両立は学校の校是、厳しい条件下、部活動の振興を進める 生徒の意識を高める学校行事を進める 生徒会は新しい取組に挑戦する。地域の活動にも貢献できる取組を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動が人格を陶冶することを広く学校内外に広報する。 各種壮行会を実施し、母校愛を育てる 父母の会、後援会と連携し、環境美化保全活動を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 関東大会、インターハイ、国体等への出場を目指す 優れた成績をあげた生徒を顕彰する 学期毎、西川口駅から本校への通学路クリーン作戦を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上部、水泳部がインターハイ、国民体育大会に出場。化学部ロボカップジャパン埼玉大会優勝。陸上、柔道、ダンス、テニス、書道、吹奏楽、化学部優秀生徒表彰 生徒会主催クリーン作戦は父母の会、ボランティア等の協力で各学期に実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> 部活動を真摯に取組む生徒を表彰、学校が勧める文武両立を実践させる 父母の会、後援会、同窓会の協力を得て学校行事を活発化させる。生徒の人格形成の視点に立ち、連携を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動は生徒の自己実現の大事な部分を担うことも多いです。さらなる充実を楽しみにしています。 文武両立の学校に相応しい学力の向上と部活動の活躍を大いに期待します。特に野球部・サッカー一部頑張れ！！